

みんなで目指す2040年の姿 (後半：姿⑥～⑪)

第4回 「(仮称)はちおうじ未来デザイン2040」懇談会
令和3年(2021年)12月20日



みんなで目指す2040年の姿

11月11日 前半：姿1～5 12月20日 後半：姿6～11

- 1 人とひと、人と地域など多様なつながりを実感し、ほっとする住みよいまちをみんなでつくっている。
- 2 住み慣れた地域で元気に年を重ね、人生100年時代を生き活きと暮らしている。
- 3 それぞれの個性を互いに認めあい、それぞれが望むフィールドで活躍している。
- 4 ワクワク感を持って、「やりたい！」に挑戦でき、笑顔で自分のみちを歩んでいる。
- 5 子どもの幸せをみんなでわかちあい、安心と喜びを持って子育てしている。
- 6 一人ひとりが高い防災意識を持ち、互いに支えあいながら、強さとしなやかさを持ったまちで安心して暮らしている。
- 7 行きたいときに、行きたいところへ簡単にアクセスでき、便利で快適な生活を送っている。
- 8 地域産業のイノベーションによって、より便利で豊かな生活を享受して暮らしている。
- 9 お気に入りの「ふるさと八王子」の魅力を発信し、世界が「Hachioji」の魅力を体感している。
- 10 地球規模で考え、地域で実践し、環境負荷ゼロのまちを目指しながら暮らしている。
- 11 自然と調和したまちで、みどりあふれる美しい空間を満喫しながら心豊かに暮らしている。

みんなで目指す2040年の姿

6

一人ひとりが高い防災意識を持ち、互いに支えあいながら、強さとしなやかさを持ったまちで安心して暮らしている。

<関連する都市像>

- | |
|---------------------------|
| ①みんなで担う公共と協働のまち |
| ②健康で笑顔あふれる、ふれあい、支えあいのまち |
| ③活き活きと子どもが育ち、学びが豊かな心を育むまち |
| ④安心・快適で、地域の多様性を活かしたまち |
| ⑤魅力あふれる産業でにぎわう活力あるまち |
| ⑥一人ひとりが育てる、人と自然が豊かにつながるまち |

<背景>

- ・首都直下地震などの発生リスクや気候変動に伴う自然災害の頻発化・激甚化
- ・人口減少・少子高齢化の進行や地域コミュニティの希薄化による自助・互助・共助機能の低下
- ・高齢者をはじめとする災害弱者（災害時要援護者）への対応の必要性の高まり

みんなで目指す2040年の姿

<実現に向けた方向性>

- ・先端技術やグリーンインフラ※1を活用したレジリエント※2なまちづくりの推進
- ・災害履歴やリスクを踏まえた土地利用や施設整備の推進
- ・減災に資するみどりの適正管理の促進
- ・自助・互助・共助を支える防災情報伝達の強化
- ・つながりの広がりや多様な連携による地域防災力の強化

※1 グリーンインフラ

社会資本整備や土地利用などのハード・ソフト両面において、自然環境が有する多様な機能（生物の生息の場の提供、良好な景観形成、気温上昇の抑制など）を活用すること。

※2 レジリエンス

強靭さ・復興力。（ここでは「災害に対する強靭さ、しなやかに変化に対応できる持続可能性」として使用）

【参考】主な市民意見（2040年までに必要なこと） 別紙1のとおり

みんなで目指す2040年の姿

7 行きたいときに、行きたいところへ簡単にアクセスでき、便利で快適な生活を送っている。

<関連する都市像>

①みんなで担う公共と協働のまち
②健康で笑顔あふれる、ふれあい、支えあいのまち
③活き活きと子どもが育ち、学びが豊かな心を育むまち
④安心・快適で、地域の多様性を活かしたまち
⑤魅力あふれる産業でにぎわう活力あるまち
⑥一人ひとりが育てる、人と自然が豊かにつながるまち

<背景>

- ・人口減少、少子高齢化の進行による都市のスポンジ化及び公共交通サービスの縮小（交通空白地域の増加）
- ・環境にやさしい低炭素な交通への展開気運の高まり
- ・カーシェアリングや駐車場マッチングサービスの広がり
- ・道路・橋梁の老朽化
- ・自動運転車などの先端技術の進展

みんなで目指す2040年の姿

<実現に向けた方向性>

- ・ ライフスタイル、地域特性に応じた都市の集約化・コンパクト化の推進
- ・ 誰にでも使いやすい持続可能な公共交通システムの構築及び新たな移動手段の戦略的活用
- ・ 中心市街地などの回遊性及び安心・快適な歩行空間の確保
- ・ 道路を活用した賑わい溢れるコミュニティ空間の創出
- ・ 自動運転やMaaSなど先端技術の活用に向けたスマートシティの推進

※ MaaS

Mobility as a Serviceの略。地域住民や旅行者一人一人のトリップ単位での移動ニーズに対応して、複数の公共交通やそれ以外の移動サービスを最適に組み合わせて検索・予約・決済などを一括で行うサービス）

【参考】 主な市民意見（2040年までに必要なこと） 別紙1 のとおり

みんなで目指す2040年の姿

8

地域産業のイノベーションによって、より便利で豊かな生活を享受して暮らしている。

<関連する都市像>

- | |
|---------------------------|
| ①みんなで担う公共と協働のまち |
| ②健康で笑顔あふれる、ふれあい、支えあいのまち |
| ③活き活きと子どもが育ち、学びが豊かな心を育むまち |
| ④安心・快適で、地域の多様性を活かしたまち |
| ⑤魅力あふれる産業でにぎわう活力あるまち |
| ⑥一人ひとりが育てる、人と自然が豊かにつながるまち |

<背景>

- ・人口減少・少子高齢化の進行による生産年齢人口の減少
- ・東京都立多摩産業交流センターやリニア中央新幹線による更なる人材交流の活発化
- ・圏央道をはじめとする広域交通の進捗
- ・インターネット上での電子商取引の普及、Society 5.0※1時代の到来、第4次産業革命※2の進展
- ・人口減少や少子高齢化を背景とした商業や交通網の変化などによる買い物難民の増加
- ・働き方の変化による居住に対する選択肢の増加
- ・国が「2050年カーボンニュートラルに伴うグリーン成長戦略」※3を策定7

みんなで目指す2040年の姿

<実現に向けた方向性>

- ・企業の競争力を高める産学官の共創によるイノベーションエコシステム※4の構築
- ・女性、高齢者、外国人など多様な人材を活かす戦略的な人材活用を推進
(ダイバーシティ経営※5)
- ・テレワーク・ワーケーションなど新たな働き方への対応
- ・社会課題・地域課題解決のための新たなビジネスの創出
- ・既存企業の持続可能性の確保に向けた新しい価値の創出、事業継承、生産性向上の推進
- ・企業ニーズを踏まえた産業系土地利用誘導（受け皿づくり）の推進

※1 Society 5.0

サイバー空間（仮想空間）とフィジカル空間（現実空間）を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する、人間中心の社会。狩猟社会（Society 1.0）、農耕社会（Society 2.0）、工業社会（Society 3.0）、情報社会（Society 4.0）に続く、新たな社会を指すもの。

※2 第4次産業革命

18世紀末以降の水力や蒸気機関による工場の機械化である第1次産業革命、20世紀初頭の分業に基づく電力を用いた大量生産である第2次産業革命、1970年代初頭からの電子工学や情報技術を用いた一層のオートメーション化である第3次産業革命に続く、IoT、ビッグデータ、AIのようないくつかのコアとなる技術革新を指す。

※3 2050年カーボンニュートラルに伴うグリーン成長戦略

国が掲げる「2050年カーボンニュートラル」への挑戦を、「経済と環境の好循環」につなげるための産業政策

※4 イノベーションエコシステム

行政、大学、研究機関、企業、金融機関などの様々なプレーヤーが相互に関与し、絶え間なくイノベーションが創出される、生態系システムのような環境・状態。

※5 ダイバーシティ経営

多様な人材を活かし、その能力が最大限発揮できる機会を提供することで、イノベーションを生み出し、価値創造につなげている経営

みんなで目指す2040年の姿

9

お気に入りの「ふるさと八王子」の魅力を発信し、世界が「Hachioji」の魅力を体感している。

<関連する都市像>

①みんなで担う公共と協働のまち
②健康で笑顔あふれる、ふれあい、支えあいのまち
③活き活きと子どもが育ち、学びが豊かな心を育むまち
④安心・快適で、地域の多様性を活かしたまち
⑤魅力あふれる産業でにぎわう活力あるまち
⑥一人ひとりが育てる、人と自然が豊かにつながるまち

<背景>

- ・高尾山をはじめとする豊かな自然、長い歴史や文化、伝統産業など多岐にわたる観光資源を有する地域特性
- ・資源回収など政策分野における先導的な取組の実績
- ・人口減少・高齢化による地域づくりの担い手不足に対する交流人口・関係人口への期待の高まり
- ・桑都・八王子の歴史文化を高尾山との結びつきで物語るストーリー
「霊気満山 高尾山～人々の祈りが紡ぐ桑都物語～」の日本遺産認定
- ・MaaSの概念の登場や観光に活用できるデジタル技術の進展

みんなで目指す2040年の姿

<実現に向けた方向性>

- ・ 交流人口・関係人口の増加に向けたターゲティングによる観光・M I C Eの推進
- ・ 観光資源の洗練化及び潜在的な観光資源の発掘
- ・ 歴史・文化などの魅力の発信による愛着や誇りの醸成
- ・ 世界を魅了するシティプロモーションの推進
- ・ 八王子のファンを巻き込んだ情報発信の促進

【参考】 主な市民意見（2040年までに必要なこと） 別紙1 のとおり

みんなで目指す2040年の姿

10

地球規模で考え、地域で実践し、環境負荷ゼロのまちを目指しながら暮らしている。

<関連する都市像>

①みんなで担う公共と協働のまち
②健康で笑顔あふれる、ふれあい、支えあいのまち
③活き活きと子どもが育ち、学びが豊かな心を育むまち
④安心・快適で、地域の多様性を活かしたまち
⑤魅力あふれる産業でにぎわう活力あるまち
⑥一人ひとりが育てる、人と自然が豊かにつながるまち

<背景>

- ・地球温暖化による気候変動リスクの高まり
- ・SDGsの浸透による環境問題への意識の高まり
- ・国が令和32年（2050年）までにカーボンニュートラル※1を目指すことを宣言

みんなで目指す2040年の姿

<実現に向けた方向性>

- ・再生可能エネルギーの導入推進・普及
- ・グリーンイノベーション※2の積極的な導入
- ・環境配慮行動の定着に向けた環境教育・環境学習の推進及び事業者支援
- ・3R※3（Reduce、Reuse、Recycle）の推進による循環型社会の実現
- ・都市の集約化・コンパクト化によるエネルギーの効率化
- ・温室効果ガスの吸収源としてのみどりの保全・創出

※1 カーボンニュートラル

二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスの「排出量」から、植林、森林管理などによる「吸収量」を差し引いて、合計を実質的にゼロにすること。

※2 グリーンイノベーション

革新的な環境・エネルギー技術の研究開発の加速化・新技術の創出を行い、その研究開発成果の実利用・普及を強力に推進するために社会システムの転換を図り、これを通じて産業・社会活動の効率化、新産業の創造や国民生活の向上に資するもの。

※3 3R

廃棄物などのリデュース（Reduce：廃棄物の発生自体を抑制すること【発生抑制】）、リユース（Reuse：使い捨てせず、繰り返し使用すること【再使用】）、リサイクル（Recycle：廃棄物などを再生利用すること【再生利用】）の3つの頭文字をとった呼称。

【参考】主な市民意見（2040年までに必要なこと） 別紙1のとおり

みんなで目指す2040年の姿

11

自然と調和したまちで、みどりあふれる美しい空間を満喫しながら心豊かに暮らしている。

<関連する都市像>

①みんなで担う公共と協働のまち
②健康で笑顔あふれる、ふれあい、支えあいのまち
③活き活きと子どもが育ち、学びが豊かな心を育むまち
④安心・快適で、地域の多様性を活かしたまち
⑤魅力あふれる産業でにぎわう活力あるまち
⑥一人ひとりが育てる、人と自然が豊かにつながるまち

<背景>

- ・高尾山をはじめとした豊かな自然（森林、里山、河川など）のある地域特性
- ・市街化によるみどりの減少
- ・担い手不足などによる農林業の衰退や生産緑地の減少
- ・自然豊かで良好な環境を求める価値観の高まり

みんなで目指す2040年の姿

<実現に向けた方向性>

- ・水循環の再生や防災など、様々な分野におけるグリーンインフラの活用
- ・森林資源の保全と利用促進による森林の循環の強化
- ・農業関連施策による農地の保全と活用
- ・持続可能な都市農業による地産地消の推進
- ・学びや憩い、活動の場としてのみどりの活用

【参考】主な市民意見（2040年までに必要なこと） 別紙1 のとおり